

2019年度
宇都宮大学交換留学派遣学生

留学体験記

編：留学生・国際交流センター事務室

留学先大学名	浙江大学（中国）
留学先での所属学部・学科等	語学コース
宇大での所属学部・学科等	国際学部
留学時の学年	3年次
留学のきっかけ	中学時に中国に留学した際に、日本からみる中国と現実の中国の印象にギャップを抱き中国に関心を抱いていました。そのギャップを自分の目で確かめたいと思い留学を決意しました。またIT先進国でもありそれを体験したかったからです。
留學生活全般	一日のスケジュールとしては午前中は語学の授業を受けていました。お昼はクラスの子達とご飯を食べ交流していました。午後は自由時間でした。そのため友達とカフェや図書館に勉強に行ったり、近くの観光地に自転車やタクシーで行ったり、部屋でボードゲームなどしていました。留学後期は週に一回本科の授業を受けるつもりでした。（現地の学生のツテで）
語学力の伸びについて	留学当初はHSK 4級のレベルでした。新型コロナの影響で半年間しか中国に滞在できなかったのですが、その後半年間オンライン上で授業を受講しました。結果的にHSK 6級を取得することができました。
留学したことで学べたこと、得たもの	様々な国から来た留学生たちと交流をして、多くの異文化背景や課題、視点を得ることは留学ならではの経験だと思います。社会問題について議論が白熱し少しの間関係が悪化したり、日本では食べたことのないご飯を食べたり、学びになることがたくさんでした。
これから留学される方へのアドバイス	語学力は留学前になるべく高くしていった方が、留学中伸びるのが早いと思いました。また失敗を恐れずに飛び込む力があればあるほど、面白い経験が出来るので、留学に行った暁にはたくさん飛び込んでいってください。皆さんの留学が素敵なものになることを祈っています。



留学先大学名	王立プノンペン大学（カンボジア）
留学先での所属学部・学科等	Internaitonal Foreign Language
宇大での所属学部・学科等	国際学部
留学時の学年	3年次
留学のきっかけ	<p>学生生活を通して、発展途上国や貧困問題に興味を持ったため。</p> <p>学生生活の中で、「これをしてきた！」と自信をもって言えるものがなかったため、留学しようと考えたから。</p> <p>英語運用能力を上げたかったため。</p> <p>JASSOの給付型奨学金により、留学をすることができたため。</p>
留学生活全般	<p>平日は、7：30～11：00まで学部の授業、15：00～17：00までクメールの授業を履修していた。クメール語の授業は自主的に受けていた。</p> <p>休日は、土曜日に日本人学校の補習校で代理教師をしていた。日曜日は、家や近場のカフェで課題を行ったり、友達と遊んでいた。</p>
語学力の伸びについて	<p>英語に関しては、留学前の勉強が不十分であったことや現地の学生の訛りが聞き取れなかったことから苦労した。また、授業以外はクメール語を使うことが多いため、あまり英語が向上したとは言えない。しかし、課題、プレゼン、聴講を通して、英語運用能力が多少上がったと感じたこともあった。</p> <p>クメール語は、5か月ほどの勉強で、料理の注文や買い物の値段交渉程度の会話はできるようになった。</p>
留学したことで学べたこと、得たもの	<p>発展途上国で半年間生活したこと自体にとっても意味があったと感じた。現地の人と会話をしたり、現地の学生と一緒に勉学を共にできたり、現地の人と同様の食事をしたりしたことで、座学では決してわからないリアルな発展途上国の現状について直に感じることができた。また、知り合いの伝手により、スラムに行く機会もあり、貧困の現状も肌で感じた。さらに、隣国へ旅行をする機会が多くあり、様々な国の文化に触れることができたり、そこで出会った人と英語でコミュニケーションをとることで、英語力の向上や一生の思い出につながったと思う。</p>
これから留学される方へのアドバイス	<p>自分の行動次第で様々なことを体験できます。特にカンボジア留学は半日ほど自分の時間をつくれるので、うまく有効活用することによって充実した留学生活になると考えます。現に自分はインターンシップや日本人学校の代理教師などに挑戦することができました。しかし、英語を本気で習得したい人にはあまり向いていない国だと思いました。授業も英語を勉強するというよりは、国際関係の知識を勉強することに焦点を置いているので、英語ができることを前提とした授業を行っています。もし、英語を勉強したいのであれば、英語圏へ留学することをお勧めします。</p>

留学先大学名	ヴィンセンス大学（アメリカ）
留学先での所属学部・学科等	ESL
宇大での所属学部・学科等	国際学部
留学時の学年	3年次
留学のきっかけ	長い間英語を学習していくうちに自分でも英語を話せるようになりたいと考えたのが第一のきっかけです。また、地元から宇都宮に出たことで自身の考え方や地元への意識が変化し視野が広がったことを実感し、一度を日本を出てみればより広い視野の考え方、新しい価値観が得られると考えたため留学を決意しました。
留学生活全般	学期の間は大学の寮で1人のアメリカ人とルームシェアをしていました。平日は朝の8時半から留学生クラスの英語の授業を受け授業後は友人と遊びにいたり、ジムに通ったり、課題を行ったりしました。また、日本文化クラブに所属し多くの日本に興味がある学生たちと関わり、カレーパーティー、おにぎりパーティーなどを楽しみました。学期が終わると同時に帰国までの2週間はアメリカ人教授のお家にホームステイさせてもらい生活を共にしました。
語学力の伸びについて	日常会話はある程度スムーズにできるようになり、英語クラスでは単語や読解もやっていたので語彙力も上がったと考えております。タイミングが悪く帰国後TOEICをまだ受けることができていないため点数での判断は難しいですが3月に受験予定です。
留学したことで学べたこと、得たもの	語学力はもちろん、言語が難しい場合は相手の表情や声から読み取ったり、自分が発信者になる場合は簡潔に相手に伝わるようにする力が付いたと思います。また、日本に興味があるだけではなく、将来的に日本で働いてみたいと考えている学生との交流も持つことができたのはとてもよかったと感じています。
これから留学される方へのアドバイス	私は半年間の留学期間だったためよりいっそうあっという間の留学でした。知らない学生に話しかけたりなどはためらいがちですが、関わりたいと思った人には積極的に話していくこと、自分からいろんなコミュニティに参加していくことは留学をより有意義なものにできるのではないかと考えています。



留学先大学名	セントラル・ランカシャー大学（イギリス）
留学先での所属学部・学科等	Humanities Language and Global Studies
宇大での所属学部・学科等	国際学部
留学時の学年	4年次
留学のきっかけ	英国文化、英国の日常生活に触れることが目的です。自分の英語力がどの程度であるかを知るためにも、英国での生活をしてみたかった。
留学生活全般	大学生活は、予想以上に授業に追いつてられる生活だった。一週間当たり4教科の授業だが、中には、授業と演習がある科目もあり、予習復習に多くの時間をとられた。また、グループディスカッションを要求される授業では、意見交換、集約に時間がかかった。留学先が小さな町で、日常生活は徒歩圏内で事が足りる。
語学力の伸びについて	意思を伝える力は向上したと思う。
留学したことで学べたこと、得たもの	考え方が各国、各地域で異なることを身をもって知ることができた。知識の上で知っているつもりと、実際面の違いを体験できた。
これから留学される方へのアドバイス	とにかく出かけることが必要です。それも、長期間そこで生活することで、文化の違いを多少なりとも感じることもできるかもしれない。

授業→
多文化を知るため各国の飲食物を持ち寄り



←カフェでのグループミーティング



アフタヌーンティー→



留学先大学名	ガーナ大学（ガーナ）
留学先での所属学部・学科等	人文社会学科
宇大での所属学部・学科等	国際学部
留学時の学年	2年次
留学のきっかけ	国際学部に入學したことで、ほかの人には無い独自の海外体験をしたいと思ったこと、アフリカという地域の暮らし、人々、文化社会への純粋な興味があったこと
留學生活全般	週に4-5回ほどの授業があった。授業の履修登録の方法が特殊なため周囲の学生や大学職員と積極的にコミュニケーションをとることが求められる。休みの日や授業の空き時間は大学がある首都アクラ市内を散策した。アジア系の学生は珍しく、かつ現地の生徒の多くが積極的なため友人はすぐに出来る。友人を介してガーナの文化に触れる経験（冠婚葬祭への参加など）もできた。授業及び試験の難易度は英語学力や受講する分野等によるが平均的
語学力の伸びについて	一人でもいいので他言語話者と常に行動するようにすると伸びやすい。履修する科目にもよるが授業自体ある程度の語学力を求められ、自身の語学力がその水準に達していなくても根気強く取り組むことが重要。話せなくても話せないなりのコミュニケーションを。語学力は潜在的に成長します。
留學したことで学べたこと、得たもの	①危機管理能力：普段は親しい間柄ですら思わぬ要求をされることがあると念頭に置くこと。②行動力：最低限誘われたら必ず行くこと。③将来像：学際的な学習の環境が用意されているため、将来の選択肢や視野が広がった。④就活への効果：留學経験者だけが参加可能な企業の早期採用選考イベントで内定を得た。
これから留學される方へのアドバイス	語学力向上のために他言語話者と行動を共にすることを前述しましたが、現地での日本人同士の交流も貴重な体験や人間関係構築、悩み相談の機会に繋がるので積極的に行うことをお勧めします。 個人的に留學の意義は「就職活動で役に立つ経験を得られること」だと思うので同じような動機がある場合は、常に自信を持って話せるネタを探すといいと思います（ボランティアに参加するとか、現地のインターンとか）

←アグボグブロー地区の廃棄物処理場



ガ民族のお祭り→



↑バンクーとオクラスープ

歩道橋から見た国道4号線→

